

1) システムの名称：

F-RIS (エフリス) <FUJIFILM 放射線情報管理システム (治療オプション)>

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け：

5. 画像検査系 (部門情報システム、PACS、レポート系、モダリティ他)

3) 特色：

放射線情報管理システム F-RIS は、豊富な導入実績に基づき培った技術やフレキシブルな連携により、電子カルテや読影システムとのシームレスなシステム構築が可能です。効率的なワークフローを追求し、さらに進んだ医療情報ネットワークシステムです。また、放射線業務の効率的ワークフローを追求した F-RIS、RIS 一体型 CR console が、X 線撮影業務のさらなる効率化を提案します。

この度 F-RIS に放射線治療情報管理機能を追加した「F-RIS 治療オプション」を発売致しました。ウィザードライクของผู้ザインターフェイスで使い易い操作性を実現しました。

■ 正確、かつ、迅速なオーダー伝達

オーダーリングシステムとの接続により“オーダーから RIS へ”“受付から各撮影室へ”、依頼情報の正確、かつ、迅速な情報伝達が可能。また、感染症、禁忌、患者状態など患者の基本的な情報の伝達も可能となります。

■ 撮影機器へオンラインでの情報の送受信

撮影機器接続により、患者・依頼情報をオンラインで撮影機に送信することができ、また、接続機器によっては、撮影条件のオンライン取得も可能で、入力作業が減少し、かつ、正確なデータの蓄積にもつながります。

■ 実績入力の省力化

撮影項目毎に撮影条件、使用物品等の基本の値が設定可能なデフォルト機能により、撮影実績入力的大幅な省力化を行います。

■ 撮影検査の待ち時間の短縮

撮影業務の効率化により、各業務にかかる時間が短縮されるため患者さんの待ち時間を短縮できます。

■ 待ち時間のストレスを軽減

該当撮影ゾーンの撮影順や待ち時間の目安を表示する待合表示機能により待合い状況が患者自身で確認できるため、待ち患者さんのストレスを軽減することができます。また、撮影室では、待ち患者さんが撮影順に一覧表示されているため、撮影が混乱する事はありません。

F-RISは情報を単に電子化するだけでなく、各種放射線業務を確実に効率化します。



4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：

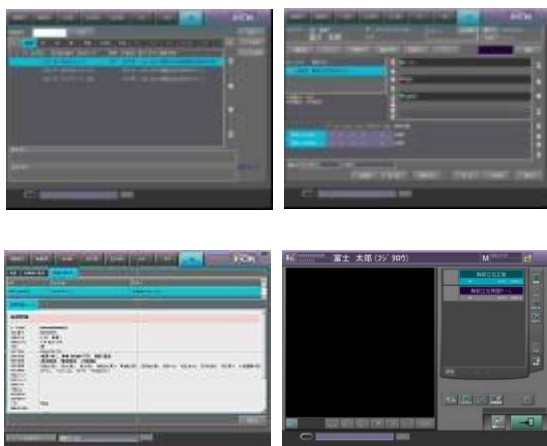
<一部機能について画面と注釈でご紹介致します>

■ 受付業務



- 受付
- 患者検索
- 受付表発行
- 撮影カード発行
- 待ち時間表示
- 予約状況照会
- 撮影状況照会

■ 一般撮影業務 (CR Console)



- ① 撮影ゾーン別に、検査順番と患者待ち状況を一覧表示します。画面に指で触れて操作できるタッチパネル方式を採用しており、簡単にスピーディな操作性を実現しています。
- ② 依頼情報表示画面
オーダーリングシステムからの撮影情報依頼時情報(禁忌・感染・撮影詳細指示等)を撮影前に確認する画面です。設定により、撮影画面に遷移する前に自動表示させることができます。
- ③ 撮影画面
撮影オーダー情報を FCR 撮影メニューへ自動展開し、画像処理パラメータや使用フィルムサイズ等も自動的にプリセットされます。また、X 線発生装置との接続により、撮影条件のプリセットをはじめ、実際の照射条件を取得し照射録等に反映させることも可能です。
- ④ 実施入力画面
撮影が終了すると、実施入力画面が表示されます。使用フィルム枚数や材料等確認し、必要があれば修正が可能です。

■特殊撮影業務（モダリティ装置）



①受付後患者リスト画面

撮影ゾーン別に、検査順番と患者待ち状況を一覧表示します。リストを選択すると、画面下側に撮影項目や患者状態（オーダーリングシステムより情報が送信された場合）を表示します。

②実施入力画面

受付後患者リストから撮影を選択すると、実施入力画面が表示されます。今回撮影する項目や依頼情報（禁忌・感染・撮影詳細指示等）が自動的に表示されます。

③物品編集画面

実施入力では、使用フィルム枚数や材料等がマスタにより自動的に入力されますが、必要があれば修正することが可能です。

④患者状況照会画面

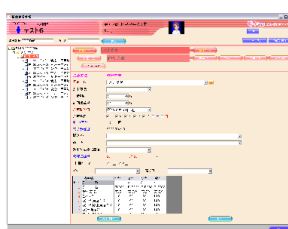
撮影/患者状況照会画面から、患者毎の検査履歴一覧や撮影室毎に撮影状況照会が可能です。また、実施入力済み検査の実績修正もこのどちらの照会画面からでも行うことができます。

■放射線部門管理



- 物品管理
- 業務統計管理
- セキュリティ管理
- マスタ管理
- 検査予定表
- 照射録サマリー

■治療オプション機能



- 治療オーダ発行
- 治療予約管理
- 帳票出力
- 治療情報入力
- 部門受付
- 受付票出力
- 実績登録/修正
- 治療サマリ
- 簡易カルテ入力（簡易 SOAP 記述）
- 患者照会
- ラベル出力
- 治療全文検索
- 照射録
- 統計（人数、件数、RawData）
- DICOM MWM 接続
- 各システムとのインターフェース

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

- <HL7 ver2.5> 患者情報（ADT）、検査情報（ORM）、実施情報（ORU）対応
- <DICOM ver3.0> MWM/MPPS 対応
- <IHE-J 準拠> Actor：DSS/Order Filler、Integration Profile：SWF、PIR

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

- ・RIS サーバ OS:Windows Server2003 StandardEdition 日本語版
 - ・RIS クライアント OS：WindowsXP Professional CPU：Pentium 4 2.80GHz 以上
- 治療オプションはモニター2面構成推奨

7) 稼動までに必要な作業・期間：

病院担当者様、HIS メーカー及びモダリティメーカーとの打合せ（10 回程度）・通常4ヶ月程度

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

7～9 桁（システム規模により算出）

9) 保守の内容と費用：

システムを常にベストな状態で保ち、障害発生を未然に防ぐため、また、万一の障害にも対応するための保守サービスを提供しています。導入初年度は無償、次年度以降は有償保守契約にて対応しています。 費用：7～8 桁（システム規模により算出）

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）：

富士フィルムメディカル株式会社 <http://fms.fujifilm.co.jp/>
 IT ソリューション事業本部 事業推進部
 〒106-0031 東京都港区西麻布 2-26-30 富士フィルム西麻布ビル
 TEL. 03-6419-8040 FAX. 03-5469-3468